
大腸がん検診

大腸がん検診（便潜血反応検査）の実施成績

東京都予防医学協会検診検査部

はじめに

東京都予防医学協会（以下、本会）では、1986（昭和61）年より便潜血検査による大腸がん検診を実施している。そして、1次検査で陽性となった精密検査対象者には大腸がん追跡調査用紙を配布し、受診した提携先医療機関またはそれ以外の医療機関より精密検査の結果を返信していただくという、追跡調査システムを実施している。なお本システムの対象者は職域検診、地域検診、人間ドックの受診者である。

便潜血検査は、抗ヒトヘモグロビン・マウスモノクロナール抗体を利用した金コロイド凝集反応で便中のヘモグロビンを測定する免疫比色法（和光純薬社）により、大腸内の出血の有無を調べる方法である。

1日のみ採便する1日法と2日間採便する2日法が

あり、検査委託団体や健康保険組合との契約により異なる。また、検体は基本的には検診時に回収しているが、10月中旬～2月に実施する一部の事業所では郵送による回収も行っている。

本稿では、2017（平成29）年度の大腸がん検診の実施成績と結果について報告する。

受診者数と年齢分布

大腸がん検診総受診者数は男性27,789人、女性20,145人の計47,934人で、男女比は1.38：1と男性が多くなっている。男女比率を検診別にみると、男性は職域検診では61.4%、人間ドックでは65.5%であるのに対し、地域検診では逆に女性が73.4%と多い傾向を示した。検診区分としては職域検診が35,183人

表1 検診区分別・年齢別分布

検診区分	性別	年 齢 区 分							総計	男女比率 (%)
		～29歳	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～		
職域	男性	348	2,712	6,777	7,125	3,833	660	138	21,593	(61.4)
	女性	376	1,860	4,878	4,480	1,584	347	65	13,590	(38.6)
	合計 (%)	724 (2.1)	4,572 (13.0)	11,655 (33.1)	11,605 (33.0)	5,417 (15.4)	1,007 (2.9)	203 (0.6)	35,183 (73.4)	
地域	男性	0	26	365	321	370	314	75	1,471	(26.6)
	女性	0	109	1,413	974	920	565	88	4,069	(73.4)
	合計 (%)	0 (0.0)	135 (2.4)	1,778 (32.1)	1,295 (23.4)	1,290 (23.3)	879 (15.9)	163 (2.9)	5,540 (11.6)	
ドック	男性	11	746	1,529	1,554	728	139	18	4,725	(65.5)
	女性	18	428	877	767	314	77	5	2,486	(34.5)
	合計 (%)	29 (0.4)	1,174 (16.3)	2,406 (33.4)	2,321 (32.2)	1,042 (14.5)	216 (3.0)	23 (0.3)	7,211 (15.0)	
全体	男性	359	3,484	8,671	9,000	4,931	1,113	231	27,789	(58.0)
	女性	394	2,397	7,168	6,221	2,818	989	158	20,145	(42.0)
	合計 (%)	753 (1.6)	5,881 (12.3)	15,839 (33.0)	15,221 (31.8)	7,749 (16.2)	2,102 (4.4)	389 (0.8)	47,934	

(73.4%)、地域検診は5,540人(11.6%)、人間ドックは7,211人(15.0%)であった。

受診者数の年齢分布は、いずれの検診区分においても40～49歳が最も多く、次いで多いのは職域検診と人間ドックでは50～59歳で、地域検診では50～59歳・60～69歳がほぼ同数であった(表1)。

受診者数の推移

検診区分別受診者数の推移を示した(図)。前年度と比較すると、受診者数が全体で2,324人(4.6%)減少した。これは職域での受診者数の減少によるものである。

検診結果

職域検診での便潜血検査の要精検者数は2,432人、要精検率は6.91%で、精検受診者数は464人、精検受診率は19.1%であった。大腸がん発見率は0.037%(男性10人、女性3人)で、陽性反応適中度は0.53%であった。

地域検診での便潜血検査の要精検者数は329人、要精検率は5.94%で、精検受診者数は139人、精検受診率は42.2%であった。大腸がん発見率は0.090%(男性3人、女性2人)で、陽性反応適中度は1.52%であった。

人間ドックでの便潜血検査の要精検者数は554人、要精検率は7.68%で、精検受診者数は185人、精検受診率は33.4%であった。大腸がん発見率は0.028%(女性2人)で、陽性反応適中度は0.36%であった。職域検診での精検受診率が低く、改善の余地があると考ええる。

精検受診者788人の精検結果の内訳は、大腸がん以外では大腸ポリープが最も多く、次いで大腸憩室症、痔核、炎症性腸疾患の順であった。その他としては粘膜下腫瘍、非特異性腸炎などがあった(表2)。

図 検診区分別受診者数の推移

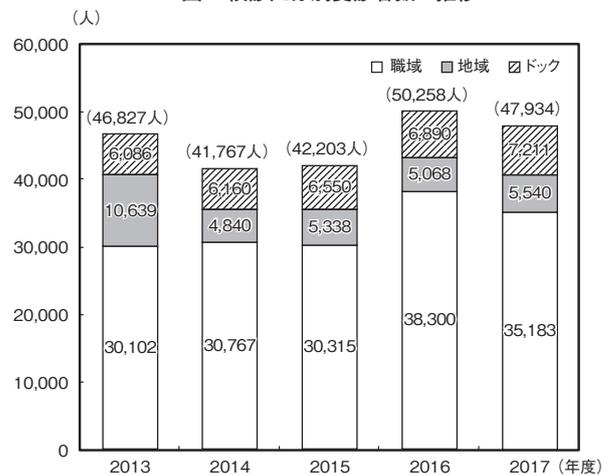


表2 検診結果

検診区分	性別	総受診者数	1次検診結果		精検受診者数	精検未把握者数	精密検査診断結果						大腸がん陽性反応適中度	
			異常なし	要精検			大腸ポリープ	大腸憩室症	炎症性腸疾患	痔核	異常なし	その他		大腸がん
職域	男性	21,593	19,997	1,635	303	1,332	158	45	17	27	75	5	10	
	女性	13,590	12,763	797	161	636	48	17	8	22	76	2	3	
	合計	35,183	32,760	2,432	464	1,968	206	62	25	49	151	7	13	
		(%)	(93.11)	(6.91)	(19.1)	(80.9)							(0.037)	(0.53)
地域	男性	1,471	1,375	96	47	49	28	14	0	7	8	1	3	
	女性	4,069	3,836	233	92	141	37	7	4	9	37	0	2	
	合計	5,540	5,211	329	139	190	65	21	4	16	45	1	5	
		(%)	(94.06)	(5.94)	(42.2)	(57.8)							(0.090)	(1.52)
ドック	男性	4,725	4,350	361	126	235	66	20	6	7	42	1	0	
	女性	2,486	2,339	193	59	134	25	5	3	1	27	1	2	
	合計	7,211	6,689	554	185	369	91	25	9	8	69	2	2	
		(%)	(92.76)	(7.68)	(33.4)	(66.6)							(0.028)	(0.36)
総計	男性	27,789	25,722	2,092	476	1,616	252	79	23	41	125	7	13	
	女性	20,145	18,938	1,223	312	911	110	29	15	32	140	3	7	
	合計	47,934	44,660	3,315	788	2,527	362	108	38	73	265	10	20	
		(%)	(93.17)	(6.92)	(23.8)	(76.2)							(0.042)	(0.60)

発見された大腸がんの特徴

2017年度に発見された大腸がんは20人であり、内訳は男性13人、女性7人で、男女比は1.86:1であった。

早期がんは15人(75.0%)、進行がんは5人(25.0%)であった(表3)。

(文責 齊藤友良, 小野良樹)

大腸がん検診のまとめ

本会における2017年度の大腸がん検診受診者数は47,934人で、前年度の50,258人から46%の減少だったものの、最近の5年間では2番目の受診者数だった。

要精検率は6.92%(前年度6.75%)と許容値(7%以下)を下回ることができた。精検受診率は23.8%と、前年度の22.0%からは増加したが、依然として極めて低率である。精検受診者数は788人と、前年度から33人増加している。

本会では大腸がん検診精検受診率の向上を目的に、2015年4月から全大腸内視鏡検査を導入している。しかし、2017年度の要精検者数から見ると十分な成果を上げているとは言い難い。精検受診率を改善するには、要精検者が精検の必要性について強い認識を持てるような案内をより徹底することが必要である。また、本会内の各部署で、全大腸内視鏡検査の予約、

表3 発見がんの特徴

	(2017年度)	
	早期がん(人)	進行がん(人)
発見数	15	5
(組織型別)		
腺がん	15	3
不明		2
(肉眼分類別)		
O-I p	5	
O-I sp	4	
O-II c	1	
O-II a+c	1	
1型		1
2型		3
不明	4	1
(深達度別)		
M	5	
SM	2	
MP		1
SS		2
不明	8	2
(病期別)		
0期	9	
I期	4	
II期		2
III b期		1
不明	2	2

実施の流れについて、より緊密に連携することが求められる。

今後は、要精検者が確実に精検を受けるような受診勧奨方法を確立していかねばならない。

(文責 消化器診断部長 川崎成郎)